

## ④ 畜産

## プロジェクト 多様なニーズに対応した牛肉生産

## 目 標

・肉用種の繁殖雌牛の飼育頭数 R4：13,600頭 → R10：15,200頭

## 挑戦する内容

- ・脂肪の質や赤身肉など多様な消費者ニーズに対応した牛肉生産
- ・輸出に対応できる高品質な黒毛和種生産に取り組む担い手の育成
- ・全国和牛能力共進会での上位入賞

関係者の声  
=対話

- ・肉用牛の遺伝的能力の把握と活用を推進してほしい（生産者）
- ・全国和牛能力共進会への参加の機運を盛り上げてほしい（関係団体）

## 役割分担

- ①黒毛和種
- ・改良組合、農協：生産者への改良に向けた交配指導、飼育牛の管理指導
  - ・食肉処理機関：輸出に対応すると畜の実施
  - ・産技センター：付加価値の高い種雄牛の造成
  - ・県：改良組合や出荷団体等間の調整
- ②日本短角種
- ・生産者：日本短角種の増頭
  - ・産技センター：付加価値の高い種雄牛の造成
  - ・県：繁殖雌牛の保留促進

## 変革後の姿

- ・県産牛に対する市場ニーズが高まり、黒毛和種の飼育頭数が増加
- ・本県特産の日本短角種の飼育頭数が増加し、多様な消費者ニーズに対応した牛肉の産地が形成

## 令和6年度計画

## 挑戦する内容

- 1 脂肪の質や赤身肉など多様な消費者ニーズに対応した牛肉生産
  - ・あおり和牛の脂肪の質と形状に関するデータ集積・分析（産技センター）
- 2 輸出に対応できる高品質な黒毛和種生産に取り組む担い手の育成
  - ・オンライン指導のモデル実証
  - ・農場HACCP等の認証取得に向けた県指導員による農場指導
- 3 全国和牛能力共進会での上位入賞
  - ・遺伝子解析技術による高能力雌牛の選抜
  - ・受精卵や性選別精液の活用による北海道大会出品候補牛の効率的な生産



日本短角種



5年に1回開催される全国和牛能力共進会(和牛オリンピック)

## 対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・農場HACCP等の認証制度に関する研修会を開催するほか、取得を希望する生産者に対し、オンラインでの指導を実施（2月）
- ・全国和牛能力共進会での上位入賞に向け、生産者及び関係団体との意見交換の場として協議会を設置し、関係者一丸となった取組を実施（5月）